

Doshisha Global and Regional / DGR

同志社大学グローバル地域文化学部／公式ロゴ



D O S H I S H A
G L O B A L
A N D
R E G I O N A L

DGR logo concept

依頼者である尹さんとの対話の中で「哀しみに感応する」という言葉が響きました。グローバル社会という言葉のイメージは、開かれた社会、また、開かれてゆく明るい世界という捉え方だけではなく実際の問題としては陰鬱なこともある。現実社会はたくさんの闇と痛みなどの問題を多く抱えていることを勉強しているのだ、と改めて認識する中、このロゴのコンセプトを考えました。目を閉じてはじめに見えたものは光でした。混沌の暗闇の中、微ではあれど、仄かに遍く広がりゆく光。そして、地域は世界の中にあるのではなく、世界は地域の中にあるという感覚からGlobalということはRegionalに包まれて立ちゆくものだという感覚でした。

Gとは、Rに包まれているのだというデザイン骨子が生まれ、GとRの文字を象徴化する中で、陰陽をデザインし、暗がりから放つ光を十字(クルス)と渦巻を組み合わせて表現しました。

十字は、人間と人間、東と西、過去と現在、文化、文明、あらゆる世界の交わりを表し、交わりによって新たな価値は創造されるという思いが込められています。渦巻きは、循環すること成長することを意味し、込められた思想の永続的な繋がりを祈り文様化しました。

このロゴを通じて、希望ある共生社会の構成と創造を担う人間が同志社大学という環境の中から創出されてゆくことを願いました。(トトアキヒコ)

平成令和の百文様:志の交わるどころ

希望、成長と繁栄、多様性、循環

平成令和の百文様の一つであり、同志社大学グローバル地域文化学部とのコラボレーション文様であり、象徴部分はGR学部の公式ロゴにもなっています。

多種多様な人びと、地域、国、文明が時代を超えて交わる中で生まれる価値が、希望の光として広がり循環してゆくことを願いクルスと渦巻を組み合わせた。G(世界)は、R(地域)に包まれており、光と多様性を表す十字と、呪術的な渦巻を影日向パターンとして組み合わせ、美しいステンドグラスの光をイメージし文様化したものです。魔除けを表す格子文様で守られた志と思いが混沌の世界に放つ光となることを願います。(文様説明/トトアキヒコ)